

クラス番号	901	ゼミタイプ	地域研究 型
		担当教員名	大濱 裕
テーマ	「地域を観る眼」を養い、「地域と参加・協働する術・技」を学ぶ		

ゼミナール概要

地域社会は、「生き物」です。それぞれに歴史・文化を背負い、個々の自然生態環境の中でそれぞれの「ミクロ・コスモス（小宇宙）」を形成しています。そして、地域社会はそれぞれが「固有性に富んだ独特の存在」です。社会の様々な変化・変容に対応してゆくその「能力・経験・仕組み・価値規範」はそれぞれに相異なっています。また、地域社会は、其処で派生する「生活問題」やそれを解決してゆくための「住民参加」のあり方を規定し、方向付けてゆく基本的な「社会的主体・場」でもあるのです。つまり、地域社会は画一的・同質的な存在ではありませんし、また、単なる「行政システムにおける空間領域」でもありません。最近流行の市民ボランティア的なアプローチのみでは理解もできませんし、また、実効性のある活動も展開できません。

将来、行政職員として地域住民・NPOの方々とは「地域づくり、まちづくり」に取り組んでゆこうとするのであれば、まずは冷静に「相手＝地域」を観ること、知ること。それこそが、共に考え、共に働き、共にゆたかな地域づくりを展開してゆくことの出発点となります。このクラスでは、そうした「地域づくりの視点・技法」を分かり易く指導してゆきます。

目的： 地域社会のありのままの姿（能力・経験・仕組み・価値規範等）をしっかりと「観る眼」を養い、地域住民の方々との参加・協働を実現してゆく「実践的な手法・方法論」を学び、行政職員として必要とされる基本的「素養・姿勢」を涵養してゆきます。

内容： 「参加型地域社会開発（PLSD）」の基本的理論・実践手法を学びます。

(1) 地域社会の特性・特徴（能力、経験、仕組み、価値規範）を理解する理論

(2) 地域社会における参加・協働（住民・行政・NP等）を実現し、計画づくりをしてゆく手法

方法： 理論学習と現場実践（FS）を組み合わせた「経験的なグループ学習」の方式で進めてゆきます。

(1) 地域の見方、捉え方を学ぶ。

(2) 地域における住民・行政・NPOの参加・協働の事例を分析・検討する。

(3) 地域の諸活動、それを支える要素・要件を地域の人たちと共に考えて行く。

美浜町上野間地区、半田市岩滑地区、飯田市上久堅地区（予定）

(4) 調べた内容を纏め上げ、地域（まち）づくりの方向性や可能性を検討してゆく。

授業計画： 前期： 理論学習、事例分析を中心に地域を観る眼を養ってゆきます。

後期： 地域の中へグループで出て行き、住民の方々と共に地域の姿を調べ描き出してゆき、地域づくりへの可能性を一緒に考えてゆきます。

担当教員からのメッセージ

私はこれまで30年の長きに亘り、「住民参加に基づく地域開発・農村開発」にアジア・アフリカ・中米の国々や日本の地域で取り組んできました。その間に独自に創り上げてきた「参加型地域社会開発（PLSD）」の理論・手法は多くの国・地域で高く評価され、現場活動に導入・活用され、大きな成果を挙げてきています。

これから行政職員として活躍されようとするみなさんに、この現場経験に基づいて鍛え上げられてきたノウハウを是非伝えていってあげたいと思います。人目を引く目先の活動にではなく、暮らしを担う地域の人々の姿をしっかりと捉え、共に働きたいと願っている諸君の参加を期待しています。